



杭州圣世特物流有限公司

HANGZHOU KSA LOGISTICS CO.,LTD.

上海周辺物流状況について

<FNA 向け特別版>

5月19日更新

【初めに】

本資料は弊社グループ内及び顧客先向けに毎日配信させて頂いているものを初見でも見やすくするために用語や表現を再編集したものです。内容は上海周辺の物流の実用的な情報をまとめさせていただいています。政策の観点ではなく、物流企業として現場での実オペレーション体験に基づいて記載させていただいているため、政策との乖離や他の物流企業との解釈の違い、閲覧時点と状況が異なるなどの可能性があることを予めご了承ください。

【簡単なまとめから】

現状上海港や周辺の主要港（空港含む）ではほとんどの業務は再開しているが、様々な原因で作業などに時間がかかっているため、リードタイムなどは長めを想定することを推奨。また、物流の各種費用面もここ数日では下降傾向ではあるが、3月以前より高騰している状況。上海の商工業再開に伴い一時的に需要が今でも不安定な供給を上回ると考えられるため、こまめな状況確認と早めの判断が必要。

【上海港概況】

上海港ではEIR通行証を持つコンテナ車両は港での通行が可能。市外へは各行き先への通行証申請あるいは現地政府へ届け出を行うことで上海港からコンテナを配送可能。ほとんどのコンテナヤード（以降CY）では「静黙管理」を取り消して運営を再開。また、上海市では新たに「上海市重点物資輸送車両通行証」の発行を確認済み、以前の防疫物資輸送通行証と名称が異なり、上海市内の入出荷企業だけでなく物流企業が取得できた事例も確認している。最新情報によると一部の快递（宅配便）は上海への宅配業務を再開した。

港や空港ではコロナの影響により人手不足のため作業効率低下したため、待機船舶が増加し渋滞が起きている。今週から上海は経済活動を段階的に再開、市民も徐々に仕事に復帰、人員不足の状況が改善される見込み。上海港発の貨物も増加し続け、便も正常に戻りつつある。上海フェリーは通常営業中だが、40FTコンテナが不足のため、20FTの利用を推奨。

※上海一大阪（神戸）フェリーについて

1. 毎週大阪向けと神戸向けを交互に正常出航している。
2. 火曜日上海港発木曜日着と土曜日上海港発月曜日着。
3. 日本から積載してくる貨物が少ないため、空コンテナの在庫が少なく、特に40GPコンテナは貴重。
4. 旅客用フェリーも兼ねているためコンテナスペースは少ない。
5. FCL、LCL共にブッキング可能。

中国杭州市西湖区文二路391号西湖国际科技大厦B3-1309 1310室 邮政编码：310012

Tel:86-571-88473507 Fax:86-571-88473508

www.ksachina.cn





杭州圣世特物流有限公司

HANGZHOU KSA LOGISTICS CO.,LTD.

【寧波港概況】

北仑港の仕分け倉庫（以降 CFS）は以前より渋滞が少し緩和され、ほとんどの輸出混載貨物は 1～2 日掛けて貨物を CFS に入庫させることが可能。一方で輸入混載貨物は寧波港向け貨物の増加により仕分けに時間が掛かるため、輸入貨物入港後～CFS へ入庫するまでトータルで 7 日ほど掛かる。一部寧波港のコンテナ輸送会社は浙江省外の輸送業務を再開し、コロナが深刻な街への業務のみを停止している模様。また、寧波港では危険品輸送能力がまだ不足しているため、新規業務を引き受けない危険品運送会社もある。

【太倉港概況】

コンテナ輸送車両は専用の QR コードと PCR 陰性証明で出入り可能。現在一部のドライバーは上海などの星付き地域の業務は受け付けない模様。太倉一下関のフェリーは運行している。混載貨物は蘇州及び無錫にある外部集荷仕分け倉庫を利用可能。また、太倉港の危険品輸入通関は可能、ただ、危険品車両不足のため運送費用が高騰。

【上海港】

フルコンテナ輸出：一部の CY では「静黙管理」を取り消して運営を再開。また、各地で上海から来た車両やドライバーへの制限を継続、通行禁止あるいは通行証制度など、地域ごとの政策要求に従い申請許可を行う必要がある。

混載コンテナ輸出：CFS への入場にはドライバーの PCR 陰性証明や通行証などの資料が必要。現在上海港輸出の貨物量が一時より増加している、混載貨物の輸出も正常に手配が可能になった。「静黙」状態が続いている CFS もあるため、一部では入庫不可。

航空輸出：航空便は増加傾向、空港倉庫は正常に入出庫可能、浦東空港発の貨物も徐々に回復しつつある。磁気検査は 1～2 営業日早めに余裕をもって予約行うことを推奨。また、「上海化工院鑑定報告書」の業務がまだ再開せず、代替として DMG 鑑定を選択可能。危険品輸出はまだ手配は不可。

フルコンテナ輸入：外高橋港と洋山港は平常運転。大部分の船会社ではオンラインでのスイッチ B/L 業務を実施。危険品フルコンテナ貨物についてはコロナの影響により外高橋港から洋山港への移送は長時間かつコントロールが困難。寧波港が上海港の代替先になるが、こちらも危険品輸送可能な車両が不足している状況。

混載コンテナ輸入：CFS は段階的に再開になったが、コロナの影響により、これまで蓄積した貨物が多く、かつ倉庫作業員不足のため、平常運転までまだ時間が掛かる。また、危険品の混載に関しては代わりに寧波港も利用可能だが、手配可能な危険品車両が不足している。

航空輸入：浦東空港の仕分け効率が改善され、輸入貨物が空港到着後空港倉庫へ搬入するまで 1～2 日ほど掛かる。弊社提携倉庫は一部人員が戻ったため入庫仕分け作業が可能、ただ、人手不足のため入出庫作業が緩慢。通関業務は正常に可能。貨物が空港到着後、江浙沪エリアへの配送完了にはおおよそ 3～4 日掛かる模様。浦東空港は危険品の通関・検査などの業務を手配可能、ただ危険品車両が不足しているため費用が高騰。

中国杭州市西湖区文二路 391 号西湖国际科技大厦 B3-1309 1310 室 邮政编码: 310012

Tel:86-571-88473507 Fax:86-571-88473508

www.ksachina.cn





杭州圣世特物流有限公司

HANGZHOU KSA LOGISTICS CO.,LTD.

【上海周辺物流代替案】

航空輸出：浦東空港以外では、日本向けは杭州空港と寧波空港、日本以外向けはアモイ、鄭州など遠方の空港を利用可能。

海運輸出：上海で正常に輸出できない部分は寧波、太倉、乍浦などの港を利用可能、スペースタイトかつ出航に遅れが発生している。

蘇州の河川港から水路で上海港（外高橋と洋山）へコンテナ輸送が可能、通関は上海港で行う。

無錫の河川港の利用も検討可能。無錫港で通関を行い、水路で上海港へ。スペースに限りがあるためなるべく早めのブッキングを推奨。上海港で積み替えが必要のため、本船出航の一週間ほど前に貨物を引き取る必要がある。ブッキングが不調の場合は上海フェリーの利用も可能、平常運転中。

また、張家港では日韓向けの混載コンテナ輸出業務が新設された。

張家港—大阪：毎週土曜日発—水曜日着

張家港—東京：毎週木曜日発—月曜日着

張家港—釜山：毎週月曜日発—水曜日着、毎週木曜日発—土曜日着

航空輸入：基本どの空港でも輸入通関は可能。杭州空港から江浙沪地域への納品は貨物が空港に到着してから3～4日以内に配送完了見込み。アモイ空港から浙江省地区への混載便配送は空港到着後4～5日程度。寧波空港は空港到着後江浙沪エリアへおおよそ3～4日で配送完了見込み、現在関空—寧波便を利用可能。また、青島空港は現在、貨物到着後10日間の安置が必要、急ぎの場合は他の空港を推奨。

海運輸入：上海を含めどの港でも輸入通関は可能。無錫では海外から直接無錫港（WUXI PORT）へのブッキングも可能、上海港を通過して水路で無錫港へ到着後に通関。もしくは上海港で通関を行い内航船で無錫港まで輸送可能。

蘇州の河川港はコロナの影響により、現時点で輸入コンテナ業務を停止しているため輸入での利用は不可。

SINCE 1946

中国杭州市西湖区文二路 391 号西湖国际科技大厦 B3-1309 1310 室 邮政编码：310012

Tel:86-571-88473507

Fax:86-571-88473508

www.ksachina.cn

